

シルバーライフに輝きを。 ～高齢者の福祉を身近にわかりやすく～



vol.58 2021.5

主な内容

- ▶ 「橋本さわやか長寿プラン21」第8期がスタート
- ▶ 100歳おめでとうございます

編集・発行
健康福祉部 いきいき健康課



橋本市が目指す地域包括ケアシステム

自助・互助・共助・公助

加齢に伴い、自分自身でできること（自助）には限りがあります。しかし、近隣の人や家族が支えることでできること（互助）、NPOやボランティア、医療機関や介護保険制度の活用（共助）、市の高齢福祉サービスの利用（公助）などを組み合わせることにより、継続して自宅で生活を送ることができます。

住み慣れた地域で暮らす

その人に合った組み合わせが周囲に存在しているか否かで、住み慣れた地域で生活を続けられるかどうかが変わってまいります。もし近隣の人の協力がなく、介護保険制度や高齢福祉サービスを利用するだけでは、本人が希望する自宅での生活は支えきれないでしょう。



地域包括ケアシステムとは

地域包括ケアシステムとは、高齢者がたとえ介護が必要な状態になっても、住み慣れた地域で安心して自分らしい生活を続けていくことができるように、医療・介護・介護予防・生活支援・住まいが一体的に提供される仕組みのことです。

ケアシステムの深化・推進

地域のさまざまな社会資源や活動の一つ一つが点と点で結びつき、それぞれの強みや良さを生かした仕組みとして、包括的・継続的なケアシステムを根付かせることが必要です。

本市では、さまざまな社会資源や地域ごとに違う課題・ニーズを「探して」「見つけて」「知って」、住民のアイデアを生かしながら、地域包括ケアシステムの深化・推進を図っていきます。

「橋本さわやか長寿プラン21」 第8期がスタート

誰もが、ともに、地域で自分らしい暮らしができるように
「橋本さわやか長寿プラン21」は、高齢者保健福祉計画と介護保険事業計画を合わせた計画で、中長期的な視点で高齢福祉サービスや介護サービスを提供するため、3年ごとに見直しを行なっています。

第8期計画では、介護予防施策や認知症高齢者への対応を地域全体で取り組み、ともに安心して暮らし続けることができるよう、地域包括ケアシステムの一層の深化・推進を図ります。

計画の策定にあたって

計画の策定にあたり、学識経験者、保健・医療・福祉関係者、被保険者、費用負担関係者などによる委員会を設置し、協議・検討を行いました。また、地域の現状やニーズなどを把握するため、高齢者や高齢者を支援する人などにアンケート調査を実施しました。介護認定を受けている人からは「介護サービスや介護を行う家族の状況など」、介護認定を受けていない人から

は「介護予防や地域づくりなど」について意見をいただきました。

さらに、ケアマネジャーや介護保険事業者へアンケート調査などを実施することにより、必要なサービスや介護保険事業者の状況など幅広い情報の収集を行いました。

これらの調査から本市の現状を把握し、令和3年度の国の介護保険制度改正に沿った第8期の計画を策定しました。

橋本市が目指す地域包括ケアシステムのイメージ



Aさんの周りには、散歩や買い物中に声をかけてくれる人や時々自宅を訪れてくれる人など、Aさんを見守り、困ったときに助けてくれる人がいます。また、医療・介護などの公的な制度が、必要に応じてAさんの生活をカバーしています。

本市は、このように本人を主体とした一人ひとりに合った地域包括ケアシステムの実現を目指しています。

